

# 2025年3月期（通期） 決算説明資料

（2024年4月1日～2025年3月31日）

2025年5月12日

ジーエルテクノホールディングス株式会社

東証STD（255A）

# 目次

---

● エグゼクティブサマリー	P. 3
● 決算概要（2025年3月期・全社）	P. 6
● 決算概要（2025年3月期・セグメント別）	P. 10
● 業績・配当予想（2026年3月期）	P. 23
● 戦略・施策（2026年3月期）	P. 27
● トピックス	P. 32
● 参考資料	P. 35

# エグゼクティブサマリー



# エグゼクティブサマリー

## ・2025年3月期通期は増収・増益

- 売上高： 43,261百万円（前年同期比 **+16.5%**）
- 営業利益： 6,344百万円（前年同期比 **+11.0%**）

特に**半導体事業**において大幅な伸び率  
（売上高+25.2%、営業利益+15.3%）

## （通期業績予想及び配当予想）

## ・2026年3月期通期は増収・増益・増配の見込み

- 売上高： 44,700百万円（前年同期比 **+3.3%**）
- 営業利益： 6,680百万円（前年同期比 **+5.3%**）
- 配当予想： 111円（前年同期比 **+4円**）

※ 本資料全体にわたり、増減比算出基準の前期実績は  
経営統合前のジーエルサイエンス(株)のものです

## 業績ハイライト

1

**【全社】増収・増益**

売上高：	43,261百万円	+16.5%	+6,112百万円	（前期 37,148百万円）
営業利益：	6,344百万円	+11.0%	+630百万円	（前期 5,714百万円）

2

**【分析機器事業】増収・増益**

売上高：	19,965百万円	+9.2%	+1,683百万円	（前期 18,281百万円）
営業利益：	2,045百万円	+4.2%	+82百万円	（前期 1,962百万円）

（要因）【国内】装置、消耗品ともに好調

【海外】中国経済の停滞の影響を受けつつも消耗品を中心に売上高は堅調に推移

3

**【半導体事業】増収・増益**

売上高：	21,313百万円	+25.2%	+4,283百万円	（前期 17,029百万円）
営業利益：	4,167百万円	+15.3%	+551百万円	（前期 3,615百万円）

（要因）豊富な受注残高と工場の高稼働率を背景に、売上高と営業利益は前期を大幅に上回る

4

**【自動認識事業】増収・減益**

売上高：	1,982百万円	+7.9%	+145百万円	（前期 1,836百万円）
営業利益：	115百万円	▲14.4%	▲19百万円	（前期 134百万円）

（要因）ホームセキュリティ機器向けやバイタルチェック装置向けの機器組込製品の導入  
オフィスソリューションシステム向けの完成系製品などが堅調に推移

# 決算概要 (2025年3月期) (全社)

# 決算概要（全社）

## 増収・増益

- ・ 3つの事業すべてにおいて売上高は前期実績を上回る
- ・ 営業利益は半導体事業による伸びが牽引
- ・ 経営統合後（2024年10月以降）はテクノクオーツの純利益も100%加算

単位：百万円

	2024年3月期	2025年3月期	増減率	増減額
売上高	37,148	43,261	+16.5%	+6,112
営業利益	5,714	6,344	+11.0%	+630
営業利益率	15.4%	14.7%	—	▲0.7 pt
経常利益	6,108	6,626	+8.5%	+517
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,430	※ 4,064	+18.5%	+634

※ 第3四半期より、従来は非支配株主に帰属していた純利益が加算されています

# キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2024年3月期	2025年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	3,526	6,400	+2,873
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,685	▲3,276	▲1,591
財務活動による キャッシュ・フロー	▲1,188	▲2,547	▲1,359
現金及び現金同等物の 増減額	819	524	▲294
現金及び現金同等物の 期首残高	6,047	6,866	+819
現金及び現金同等物の 期末残高	6,866	7,391	+524

## 主な増減要因

【営業CF】棚卸資産の減少や、売上債権の増加幅が小さくなったこと等により改善

【投資CF】主に生産能力の増強を目的とした、有形固定資産の取得による支出が増加

【財務CF】前期は300百万円あった長期借入れによる収入がなくなり、短期借入金も減少



# 連結貸借対照表

単位：百万円

	2024年 3月期	2025年 3月期	増減額
流動資産合計	33,350	34,341	+990
有形固定資産	17,065	18,667	+1,601
無形固定資産	637	636	▲0
投資その他の資産	4,513	4,729	+215
固定資産合計	22,216	24,033	+1,816
資産合計	55,567	58,375	+2,807

	2024年 3月期	2025年 3月期	増減額
流動負債合計	10,607	9,890	▲717
固定負債合計	4,750	4,078	▲672
負債合計	15,358	13,968	▲1,390
株主資本合計	31,352	41,818	+10,465
その他の包括利益 累計額合計	2,290	2,588	+298
非支配株主持分	6,566	—	▲6,566
純資産合計	40,209	44,406	+4,197
負債純資産合計	55,567	58,375	+2,807

# 決算概要（2025年3月期） （セグメント別）

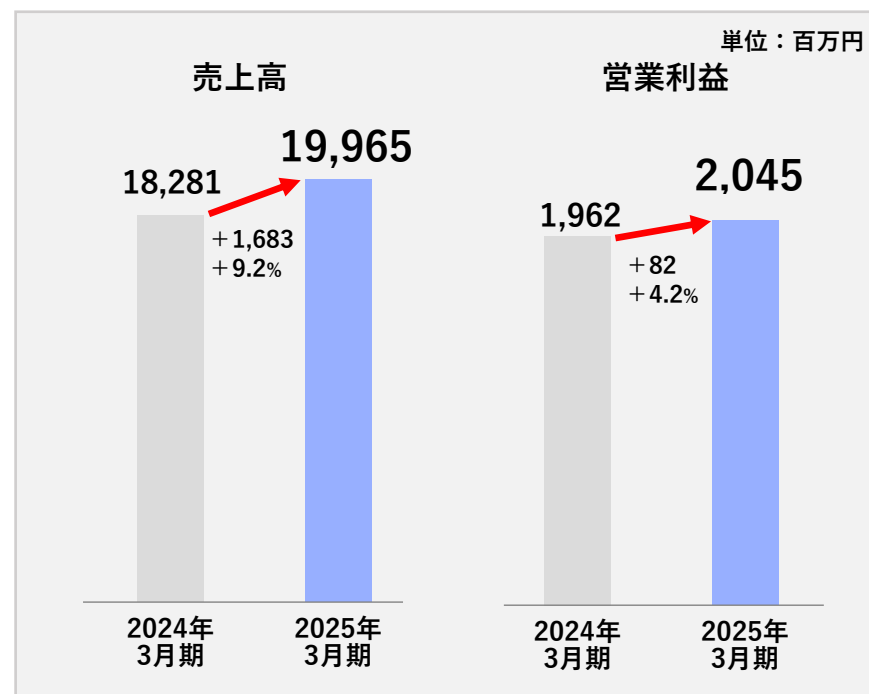
# 分析機器事業：決算概要

## 増収・増益

装置、消耗品ともに好調

単位：百万円

	2024年3月期	2025年3月期	増減率	増減額
売上高	18,281	19,965	+9.2%	+1,683
営業利益	1,962	2,045	+4.2%	+82
営業利益率	10.7%	10.2%	—	▲0.5 pt



### 要因・その他

#### <国内>

- ・ 装置類：食品、環境、化学工業、製薬などの多くの分野において堅調  
**高速液体クロマトグラフ／ガスクロマトグラフ関連装置、水質分析用装置**などが売上を牽引
- ・ 消耗品：幅広い製品群が好調  
LC用カラムだけでなく、固相抽出カートリッジ、試料調製容器なども好調

#### <海外>

- ・ 中国経済の停滞の影響を受けつつも、LC用カラムなど**消耗品**を中心に売上は堅調に推移
- ・ ガスクロマトグラフ周辺装置の販売も好調

# 分析機器事業：地域別売上高内訳

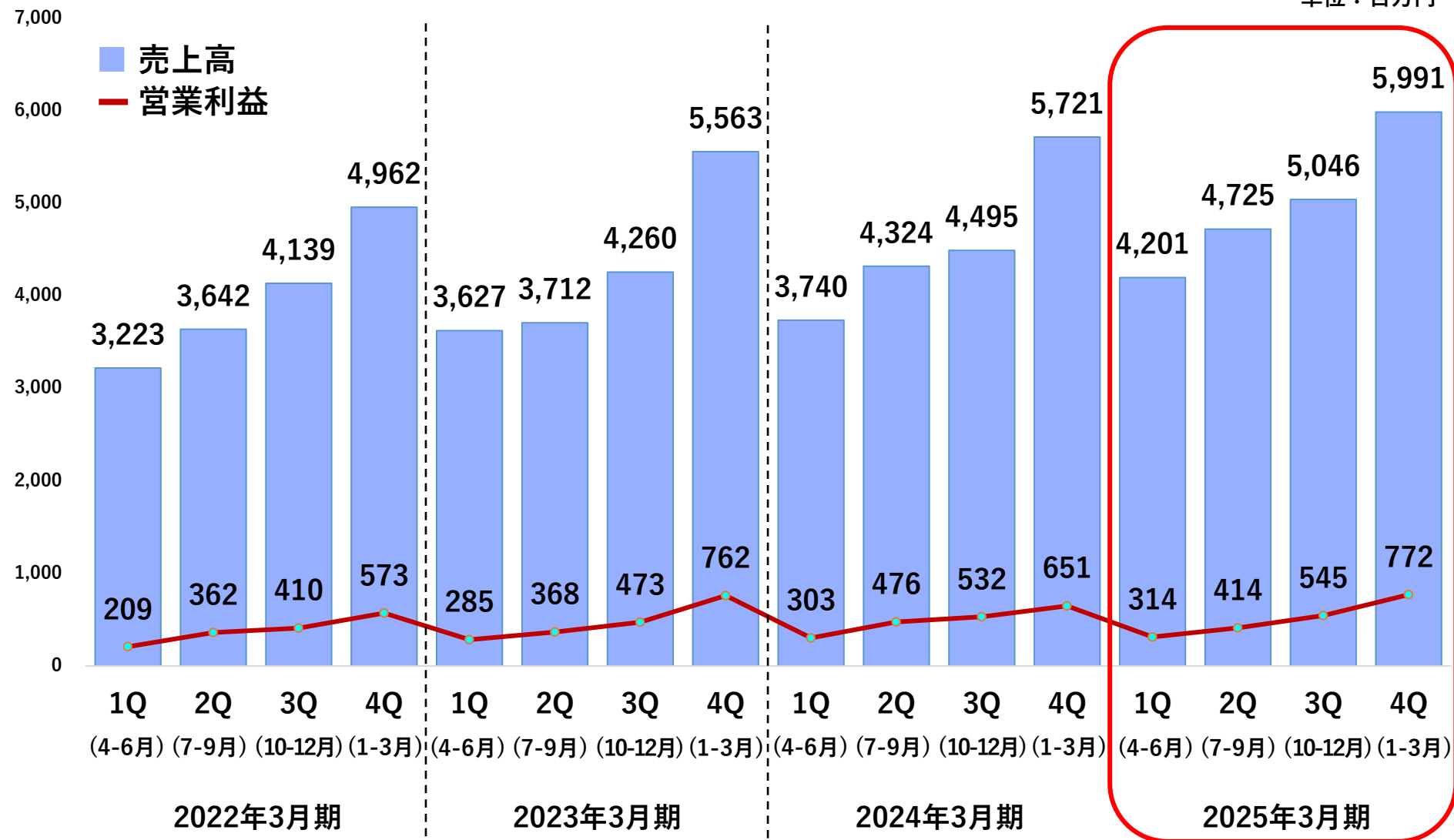
2025年3月期は日本国内での売上高の伸びが大きく貢献

単位：百万円

	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比		2025年3月期 構成比
			増減率	増減額	
国内	14,071	15,586	+10.8%	+1,515	78.1%
海外	4,210	4,378	+4.0%	+167	21.9%
北米	544	573	+5.3%	+28	2.9%
アジア	2,717	2,703	▲0.5%	▲13	13.5%
その他	948	1,101	+16.1%	+152	5.5%
合計 (国内＋海外)	18,281	19,965	+9.2%	+1,683	100.0%

# 分析機器事業：四半期別売上高・営業利益推移

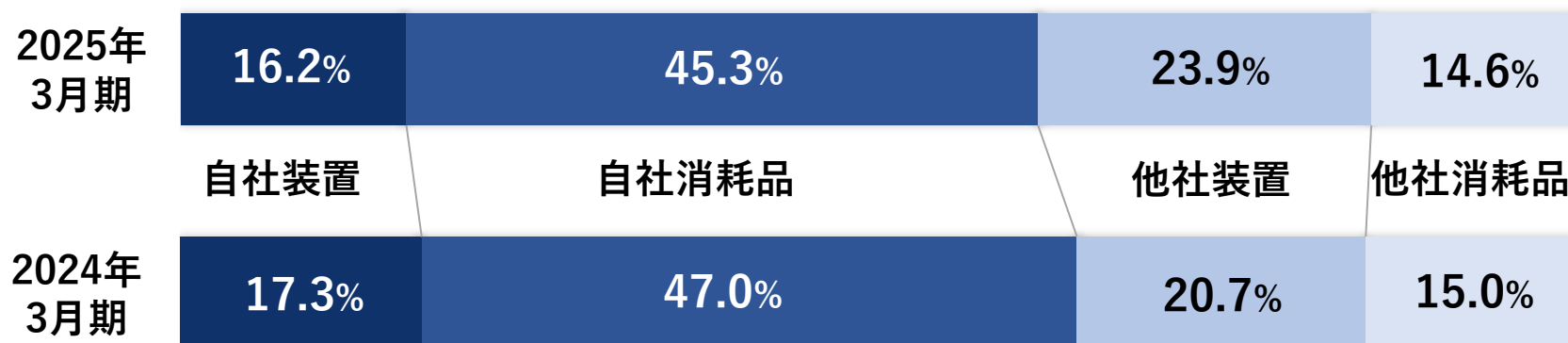
単位：百万円



# ジーエルサイエンス単体での売上高構成比

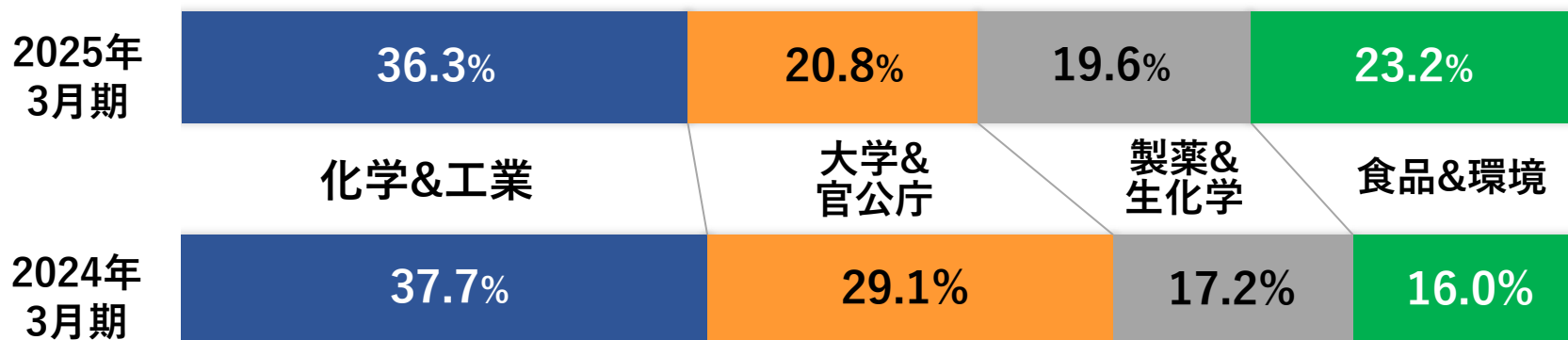
## 製品群別売上高構成比

各製品群の売上高が前期を上回る中で、他社装置の伸びが特に顕著



## 販売先別売上高構成比（国内）

化学・工業分野が最も多く、2025年3月期については食品&環境の比率が増加



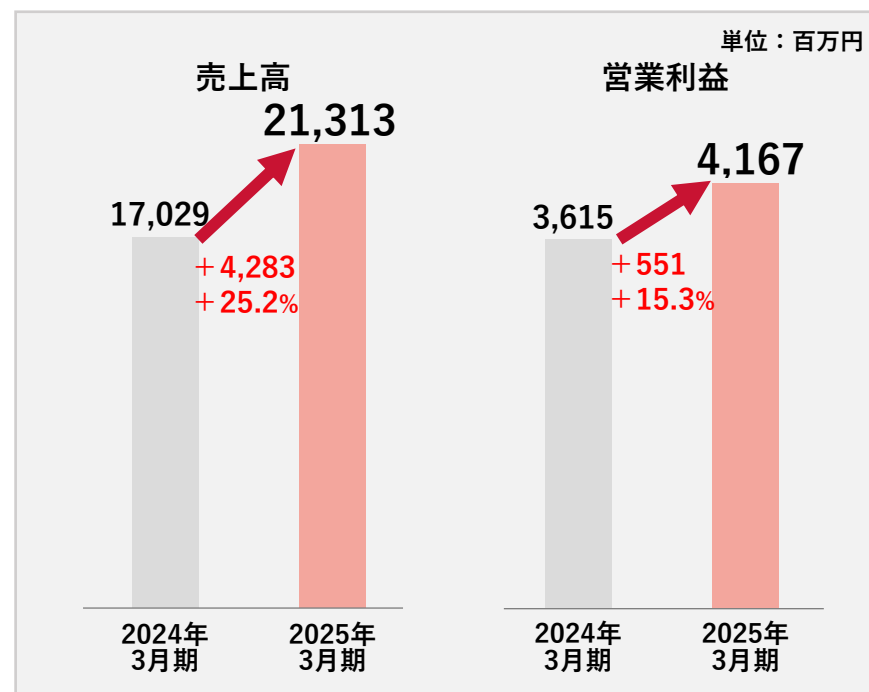
# 半導体事業：決算概要

## 大幅な増収・増益

豊富な受注残高と工場の高稼働率を背景に前期を大幅に上回る

単位：百万円

	2024年3月期	2025年3月期	増減率	増減額
売上高	17,029	21,313	+25.2%	+4,283
営業利益	3,615	4,167	+15.3%	+551
営業利益率	21.2%	19.6%	—	▲1.6 pt



### 要因・その他

#### 【需要拡大】

- PC/スマートフォン向け需要回復は依然鈍い半面、**生成AI市場**の需要拡大を背景に工場新設・増設など、今後を見据えた積極的な設備投資が活発化  
⇒ 半導体市場全体の回復は2025年後半以降の見込み

#### 【需要拡大への対応】

- 高付加価値製品**の開発と拡張によるマーケットの拡大
- 国内の**増産体制**構築のための準備

# 半導体事業：地域別売上高内訳

海外売上高（特にアジア向け）が大幅に伸長、比率も6割超に

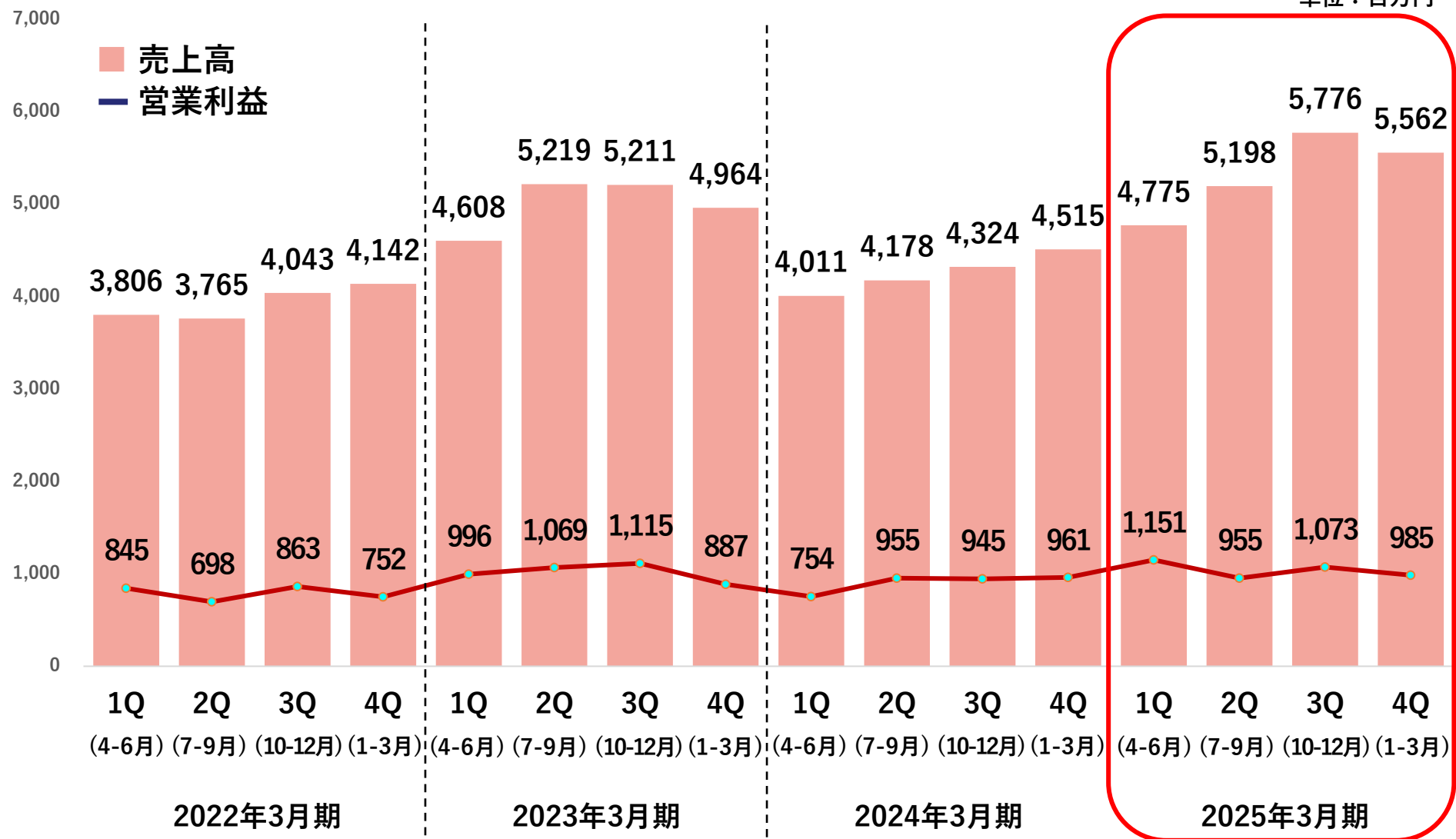
単位：百万円

	2024年3月期	2025年3月期	前年同期比		2025年3月期 構成比
			増減率	増減額	
国内	8,192	8,350	+1.9%	+158	39.2%
海外	8,837	12,962	+46.7%	+4,124	60.8%
北米	687	959	+39.6%	+272	4.5%
アジア	8,136	11,978	+47.2%	+3,841	56.2%
その他	14	24	+72.9%	+10	0.1%
合計 (国内＋海外)	17,029	21,313	+25.2%	+4,283	100.0%



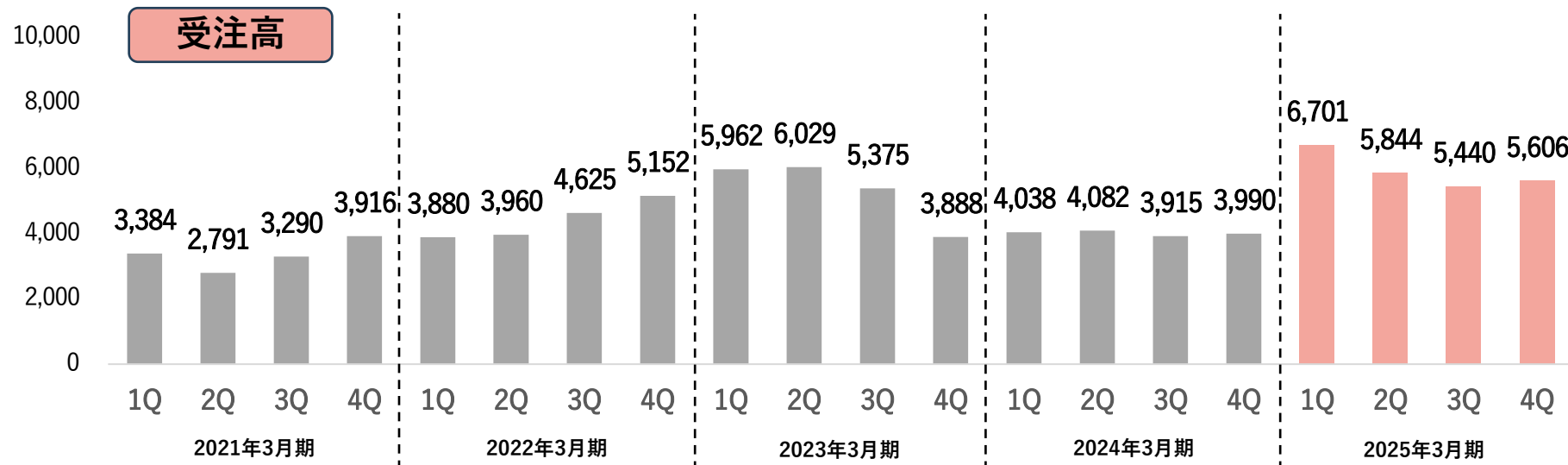
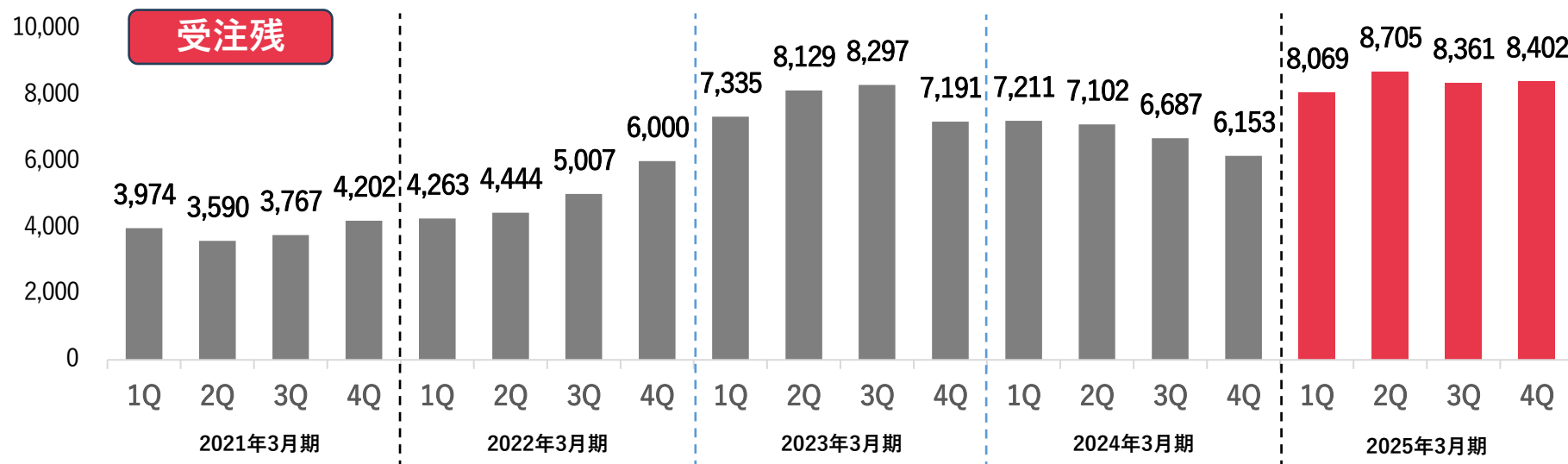
# 半導体事業：四半期別売上高・営業利益推移

単位：百万円



# 半導体事業：受注残・受注高四半期推移

単位：百万円



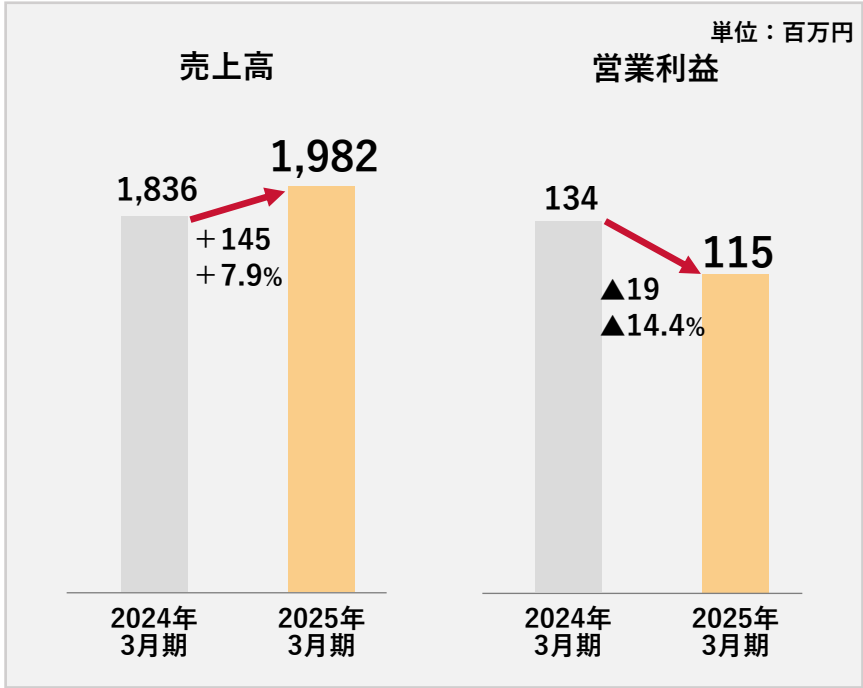
# 自動認識事業：決算概要

## 増収・減益

機器組込製品の導入、完成系製品の販売などが堅調に推移

単位：百万円

	2024年3月期	2025年3月期	増減率	増減額
売上高	1,836	1,982	+7.9%	+145
営業利益	134	115	▲14.4%	▲19
営業利益率	7.3%	5.8%	—	▲1.5 pt



要因・その他

【増収】

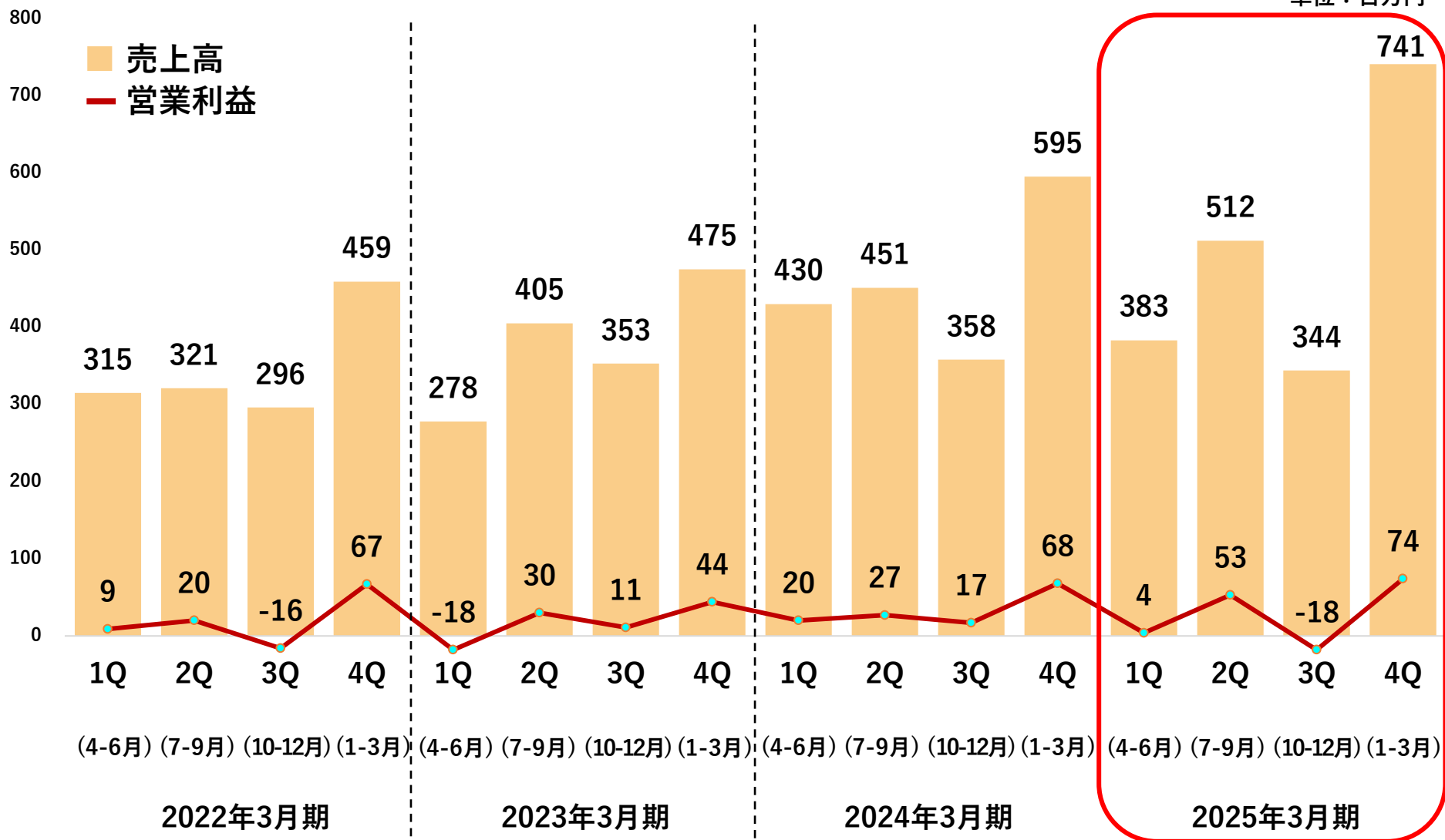
- ・ 機器組込製品：ホームセキュリティ機器向けに加え、バイタルチェック装置向けの導入が前進
- ・ 完成系製品：文教向け出欠管理システムやオフィスソリューションシステム向けなどが堅調に推移
- ・ 自動認識用その他：製品機能のアップデートに関する開発の遅れが影響し、減収

【減益】

- ・ 今後の事業拡大を見据えた、技術面及び人材面への投資増のため

# 自動認識事業：四半期別売上高・営業利益推移

単位：百万円



# 通期業績予想に対する達成率

単位：百万円

		2025年3月期 通期予想※	2025年3月期 実績	達成率
売上高	分析機器事業	20,320	19,965	98.3%
	半導体事業	20,960	21,313	101.7%
	自動認識事業	1,910	1,982	103.8%
	連結売上高	43,190	43,261	100.2%
営業利益		6,280	6,344	101.0%
経常利益		6,670	6,626	99.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益		4,110	4,064	98.9%

※ 2025年2月12日付で修正後の通期業績予想

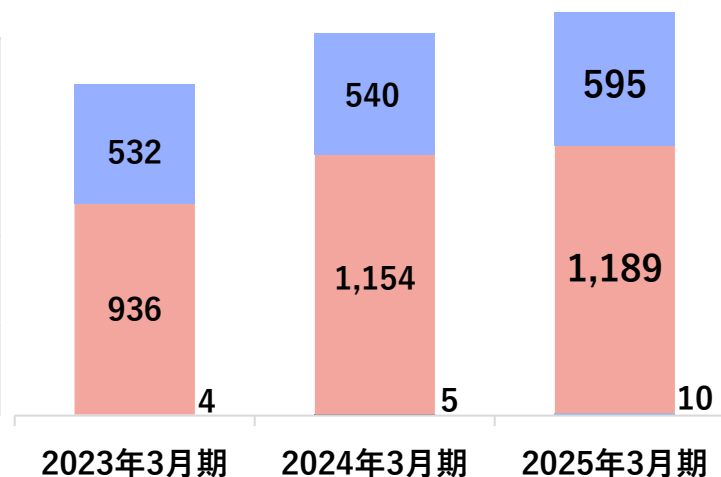
# 減価償却費と設備投資額の推移

2023年3月期～2025年3月期

## 【減価償却費】

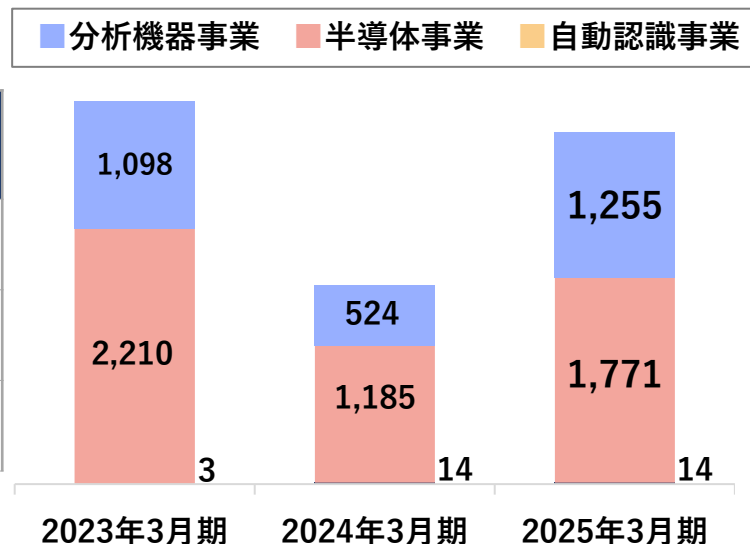
	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	増減率	増減額
分析機器事業	532	540	595	+10.3%	+55
半 導 体 事 業	936	1,154	1,189	+3.0%	+35
自動認識事業	4	5	10	+98.0%	+5

単位：百万円



## 【設備投資額】

	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	増減率	増減額
分析機器事業	1,098	524	1,255	+139.4%	+731
半 導 体 事 業	2,210	1,185	1,771	+49.4%	+585
自動認識事業	3	14	14	+4.8%	+0



# 業績・配当予想（2026年3月期）



# 業績・配当予想（全社）（2026年3月期）

## 引き続き増収・増益の見込み

単位：百万円

	2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期予想※	増減率 (前期比)	増減額 (前期比)
売上高	43,261	44,700	+3.3%	+1,438
営業利益	6,344	6,680	+5.3%	+335
営業利益率	14.7%	14.9%	—	+0.2 pt
経常利益	6,626	6,760	+2.0%	+133
親会社株主に帰属する 当期純利益	※1 4,064	※2 4,810	+18.3%	+745
年間配当（円）	107	111	—	+4円

※1：経営統合前の上期は一部が非支配株主に帰属

※2：通期で100%が親会社に帰属

想定為替レート：1米ドル＝¥150

※ 米国関税政策による当社グループへの影響は、現時点においては各事業とも軽微と考えております。

参考：「米国関税政策による当社グループへの影響に関するお知らせ」

[https://www.gltechno.co.jp/ir/library/haghgb00000003vs-att/20250430\\_1.pdf](https://www.gltechno.co.jp/ir/library/haghgb00000003vs-att/20250430_1.pdf)



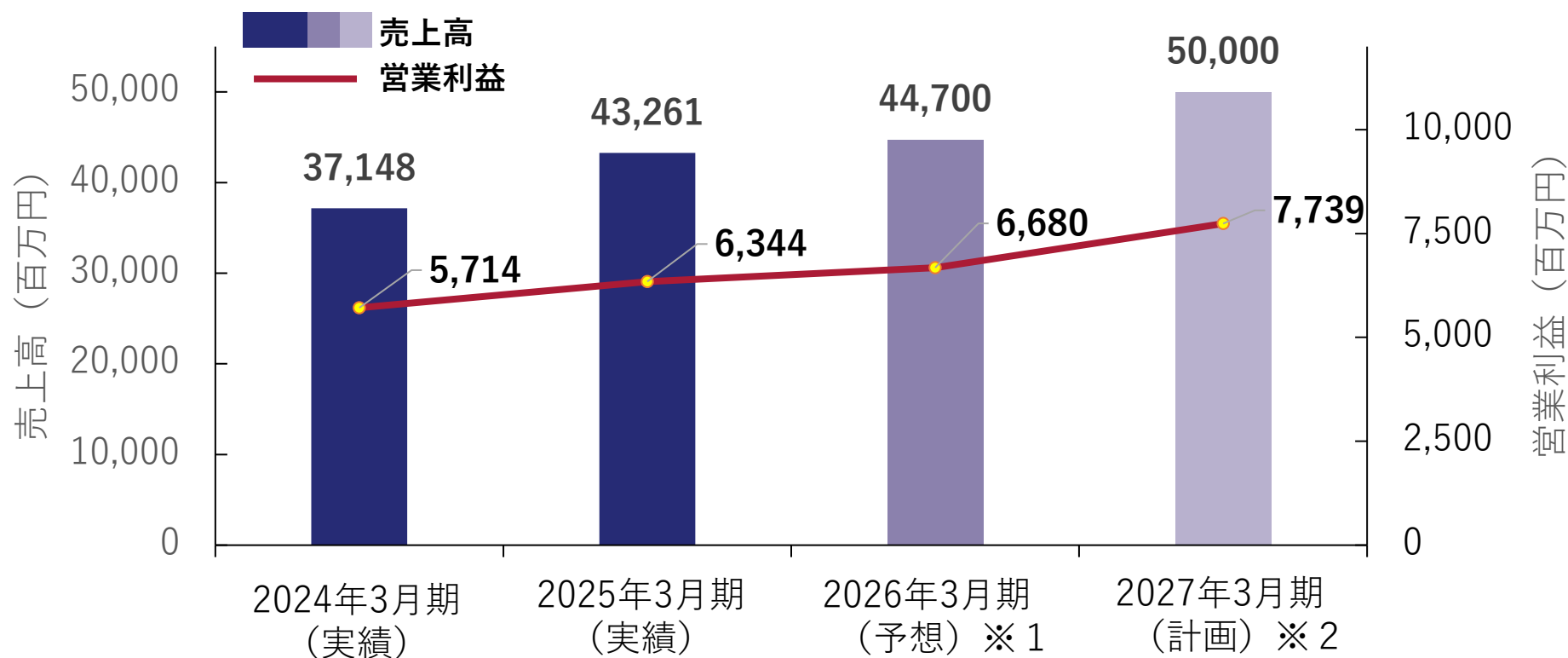
# セグメント別業績予想（2026年3月期）

単位：百万円

		2025年3月期 通期実績	2026年3月期 通期予想	増減率 (前期比)	増減額 (前期比)
分析機器事業	売上高	19,965	20,500	+2.7%	+534
	営業利益	2,045	2,050	+0.2%	+4
	営業利益率	10.2%	10.0%	—	▲0.2 pt
半導体事業	売上高	21,313	22,000	+3.2%	+686
	営業利益	4,167	4,470	+7.3%	+302
	営業利益率	19.6%	20.3%	—	+0.7 pt
自動認識事業	売上高	1,982	2,200	+11.0%	+217
	営業利益	115	140	+21.6%	+24
	営業利益率	5.8%	6.4%	—	+0.6 pt

# 中期経営計画における数値目標への進捗

## 2027年3月期の目標に向けて売上高・営業利益ともに順調に推移



※ 1 本日公開の業績予想より

※ 2 昨年10月公開の中期経営計画より

# 戦略・施策（2026年3月期）



## 戦略・施策（2026年3月期）

---

分析機器事業	国内：トータルソリューション提供の促進
	海外：各市場におけるプレゼンスの向上
半 導 体 事 業	生産能力の増強
	各地域における営業力の強化
自動認識事業	スマートフォンへの対応強化を通じた市場の開拓
	ICと生体認証との連携を加速

# 施策（2026年3月期）：分析機器事業

## 国内：トータルソリューション提供の促進

- ・ フィールドエンジニアが取り扱い可能な**他社装置の種類・地域を拡大**
- ・ **ECサイト**の積極的な活用

## 海外：各市場におけるプレゼンスの向上

- ・ 海外の各地域で販売可能な製品の**ラインアップ拡充**
- ・ **PFAS分析**などの市場トレンドにも応じたプロモーションを展開



ディレイカラム



固相抽出カートリッジ



試料調製容器



固相抽出自動化装置

# 施策（2026年3月期）：半導体事業

## 生産能力の増強

- ・ 山形県山形市及び福島県喜多方市における**新しい生産棟の準備**は予定通り進行中
- ・ 上記と並行してベトナムに現地法人を設立し、**さらなる生産能力の増強**へ



投資総額：  
約50億円

操業開始予定時期：  
2027年初頭

完全稼働時における石英製品の生産能力：  
年間売上高ベースで30億円以上

### 関連情報

「連結子会社による子会社（孫会社）の設立に関するお知らせ」（4月25日開示）

[https://www.gltechno.co.jp/ir/library/haghgb00000003p8-att/20250425\\_1.pdf](https://www.gltechno.co.jp/ir/library/haghgb00000003p8-att/20250425_1.pdf)

「連結子会社による子会社（孫会社）の設立に関するお知らせ」に係る補足説明（5月12日開示）

[https://www.gltechno.co.jp/ir/library/haghgb00000004bg-att/20250512\\_1.pdf](https://www.gltechno.co.jp/ir/library/haghgb00000004bg-att/20250512_1.pdf)

# 施策（2026年3月期）：自動認識事業

## スマートフォンへの対応強化を通じた市場の開拓

- ・ **Advanced Card Systems社**との協働に注力
- ・ 各種チケットやカード等に代わるツールとして提案



**acs** Advanced Card Systems (Japan) Ltd.  
個人認証と電子決済の技術

## ICと生体認証との連携を加速



- ・ 世界トップクラスの顔認証エンジン「FaceMe®」を搭載した『**Knoctoi Lite**』の拡販活動を展開

# トピックス





## 譲渡制限付株式報酬制度の導入について

2025年6月24日開催予定の第1回定時株主総会において  
譲渡制限付株式報酬制度に関する議案を付議予定

※詳細はニュースリリースをご参照ください（5月12日公表）

[https://www.gltechno.co.jp/ir/library/haghgb0000000496-att/20250512\\_2.pdf](https://www.gltechno.co.jp/ir/library/haghgb0000000496-att/20250512_2.pdf)

### <目的>

対象取締役に、当社グループの企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えると同時に、株主の皆様との一層の価値共有を進める

### <対象取締役>

当社の監査等委員である取締役以外の取締役\*

### <発行又は処分される普通株式の総数>

年間10,000株以内（報酬総額は年額30百万円以内）

\* 株主総会において本制度が承認されることを条件に、当社の子会社であるジーエルサイエンス、テクノクォーツ、ジーエルソリューションズの3社の取締役に対しても譲渡制限付株式を付与予定

# Search for a Way

次のイノベーションのそばに。

## 免責事項

本資料に記載されている資料には、将来に関する業績の見通しを含みますが、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々なリスクや不確定要素に左右されるため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料の著作権はジーエルテクノホールディングス株式会社に帰属します。事前の承諾なしに著作物を使用することはできません。

**ジーエルテクノホールディングス株式会社**

**〒163-1130 東京都新宿区西新宿6-22-1**

**TEL : 03-4212-6677**

**URL : <https://www.gltechno.co.jp>**

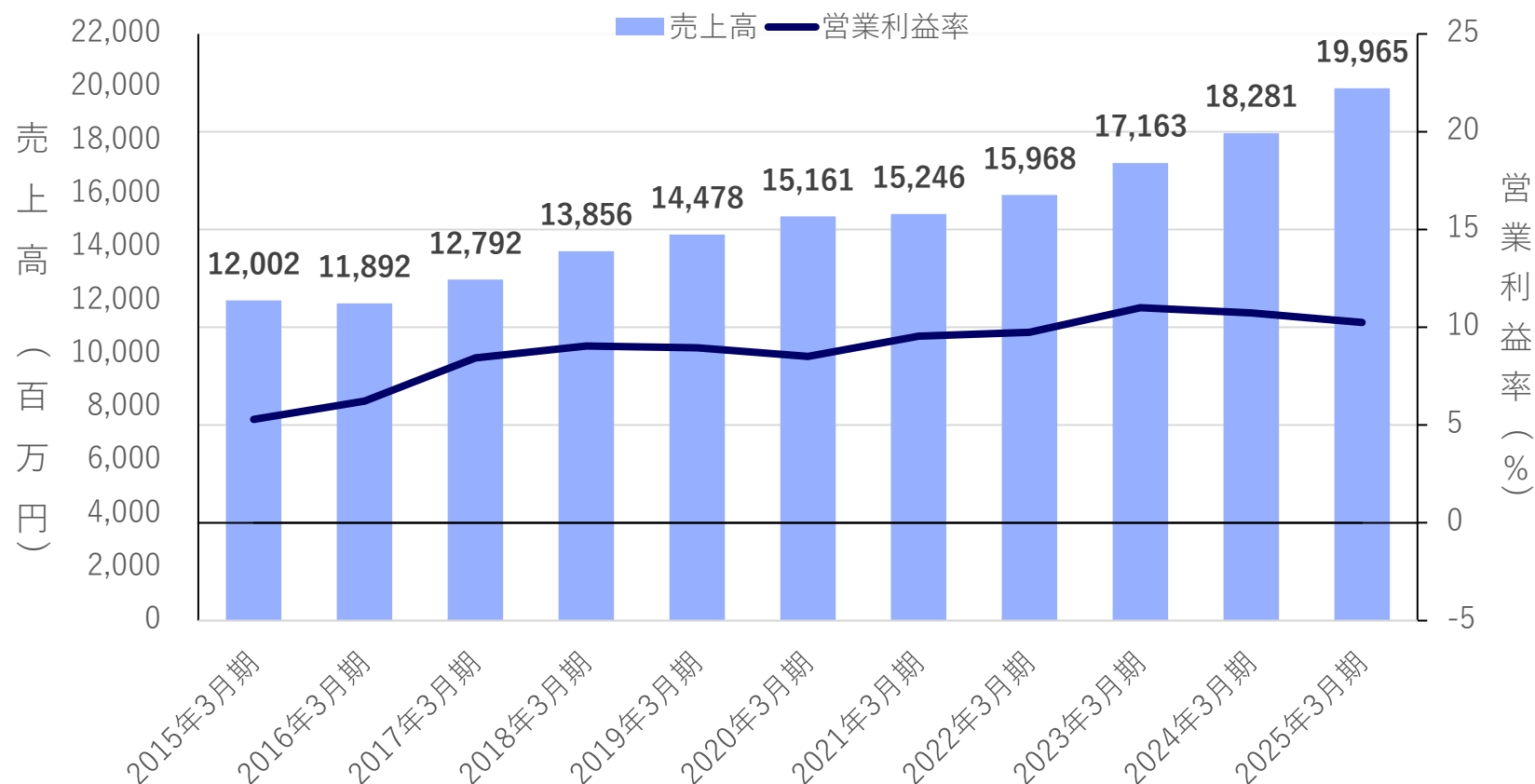
# 参考資料



## 参考資料1 分析機器事業：事業概要

景気の波に左右されにくく堅実に成長

主なアプリケーション：品質管理、有害物質の検出、研究開発

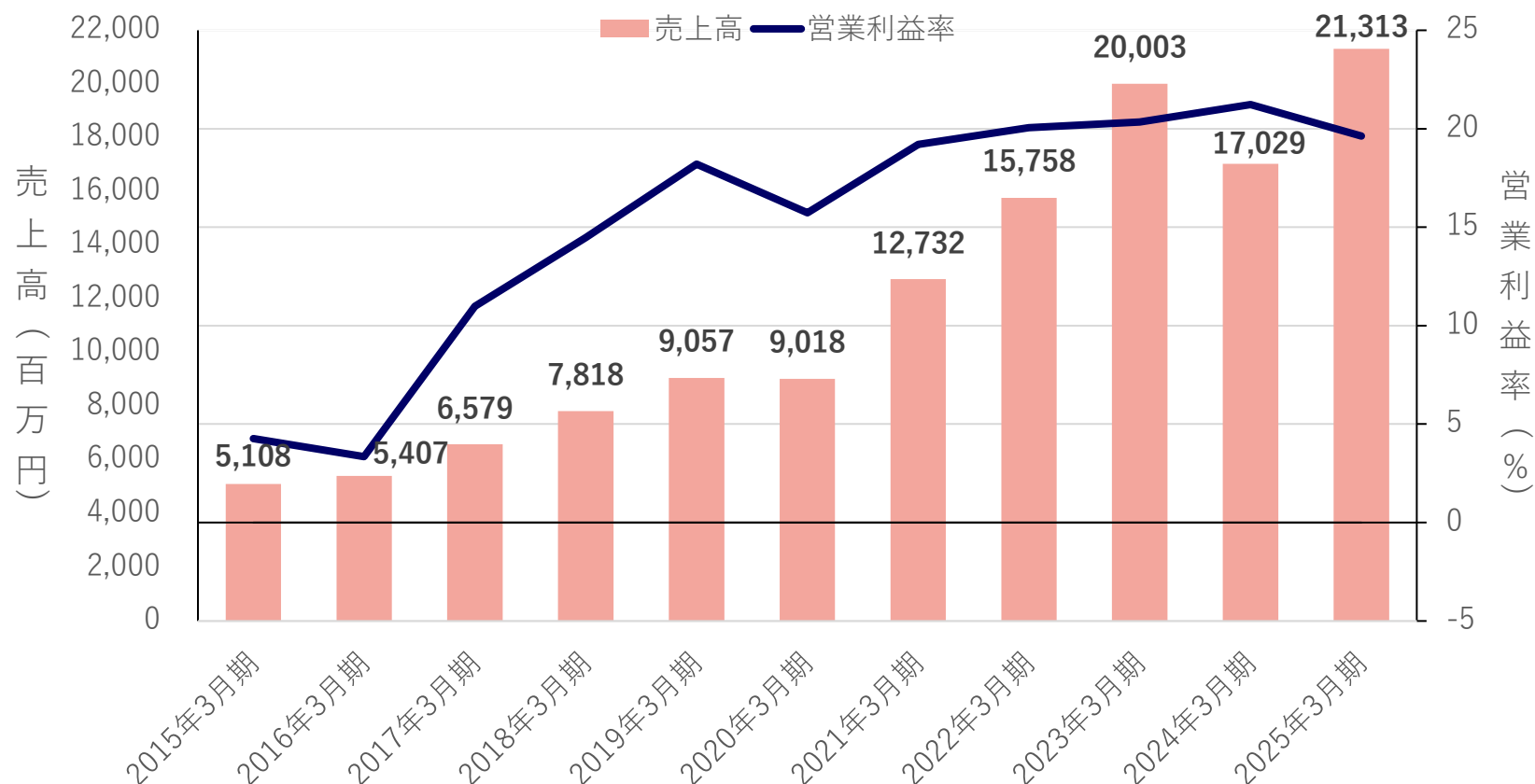


関連情報：分析機器事業の事業紹介

<https://www.gltechno.co.jp/company/business/analytical-equipment.html>

## 参考資料2 半導体事業：事業概要

半導体製造装置の稼働量の急伸等を背景に大きく成長  
メモリやロジックをはじめとした多様な半導体の製造に貢献



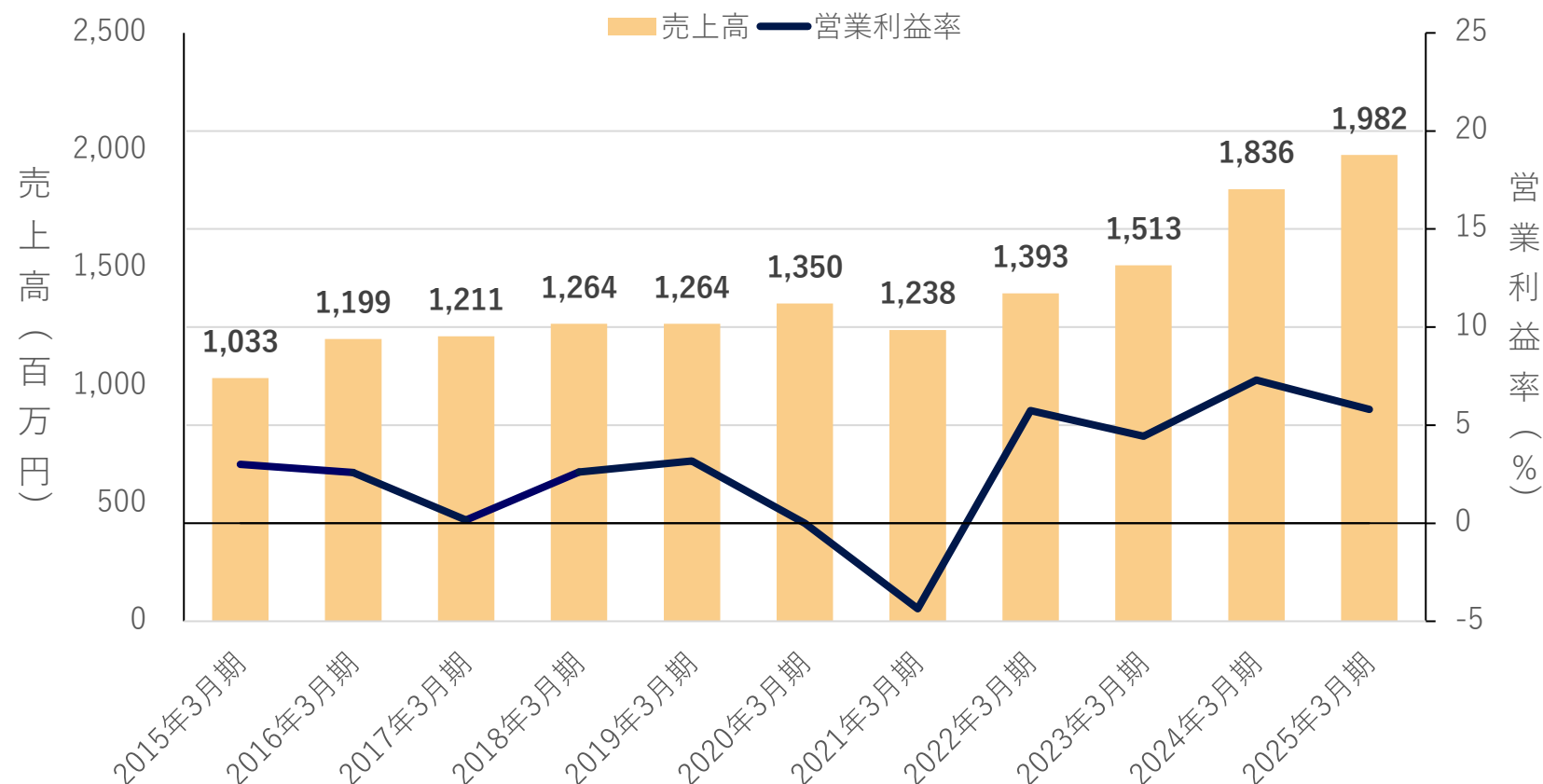
関連情報：半導体事業の事業紹介

<https://www.gltechno.co.jp/company/business/semiconductor.html>

## 参考資料3 自動認識事業：事業概要

IoTが各分野に浸透していく中でニーズが拡大

主なキーワード：自動認証、非接触IC、データ管理、セキュリティ



関連情報：自動認識事業の事業紹介

<https://www.gltechno.co.jp/company/business/automatic-recognition.html>